

その他皆様の声を聞き、議会に提案してきたこと

障がい者の就労支援に超短時間雇用の導入を

長期間・長時間を前提とされている障がい者就労支援制度では、体調などの理由によりこれまで就労支援を受けられなかったかたがいます。テレワークやフレックスタイム制など多様化する令和の働き方に合わせて、障害就労支援にも超短時間雇用制の導入を。

障がい児福祉の子育て支援、車椅子などの補装具費補助について

40歳未満の障害児・者は介護保険を受けられず、所得の状況によっては車椅子などの購入補助が受けられない。他区と比べると高額所得者が多い千代田区の特性を踏まえ、所得制限撤廃など、支援を充実させる必要があるのではないか。

移動支援DXについて

紙のパスを提示する千代田区の福祉交通『風ぐるま』パスや福祉タクシー券はデジタル化しておらず、利用状況が収集できていない。また、障害者の自主性を尊重した一人で利用できるようなバリアフリーの支援にもなっていない。今後の見通しは。

区役所手続きのアクセシビリティの向上・スマート窓口について

障がい者や高齢者、妊産婦など長距離の移動に困難を抱えているかたが自宅から近い出張所から、区役所本庁舎までweb会議でつなぎ全ての手続きを行えるなど、本庁舎に行かなくてもできるスマート窓口を設置しては。

10代後半～50代のデジタルユースクリニックについて

学校や地域コミュニティなど同世代との繋がりが少ないこの世代は、電話よりメールやLINEなどチャットに抵抗がない方も多。平日9時～17時の電話相談支援だけでなくAIやchat GPTや、リアルタイムで対面に近いコミュニケーション手段で、テレワーク中の職員も活用できるメタバース・仮想空間などの窓口DXについて検討しては。



千代田区議会議員

とみやま
富山あゆみ

文教福祉委員会 / ちよだ区議会だより 副委員長 /
デジタルトランスフォーメーション特別委員会 副委員長

Email : tomiyama.chiyoda@gmail.com
X : @tomiyaayumii
Instagram : @aym04tm
Facebook : https://www.facebook.com/ayumi.tomiya.chiyoda



SNSのDMからもご意見ご要望を
受け付けております。お気軽にご相談ください。



千代田区議会 最年少議員

VOL.1 | 2023年末号

富山あゆみの活動報告

最大会派 #次世代・都民ファースト・立憲の会 所属

千代田区からのお知らせ

詳細はQRコードへ！

1 レシートを活用した区民生活応援
「レシ活ちよだ」を開始します。

12/4
から開始！



2 区内小、中学校及び中等教育学校前期課程の
児童・生徒の給食費無償化が決まりました。



3 区内保育施設の園児が使用する
おむつのサブスクを来年1月から開始します。

(令和5年度千代田区一般会計補正予算第2号)



4 自転車用ヘルメットの購入時、
店頭で2000円が補助されます。



5 オンライン申請などを行うことのできる
千代田区独自のポータルサイトを運用開始します。



今号のひとこと

7年ぶりの
区民体育大会に
参加しました！



区議会登壇実績のご紹介

不登校支援・バーチャルラーニングプラットフォーム(VLP)について

富山の

Q フリースクールに通う児童は年々増加しており、千代田区の適応指導教室である白鳥教室の拡充も議決されました。不登校で悩んでいる子どもや保護者を支援するために、仮想空間でアバターを用いて友達や支援員等と交流や学習を行えVLPの導入を検討しては。また、区内の教員志望の学生ボランティアが登校を支援するなど、お互いに顔を見合わせて、地域で子供たちを支える不登校に悩む子供とその家族を取り残さない、孤独にしない、地域全体で子供たちを支える支援を検討しては。

(第四回定例会代表質問)

区の

A 児童生徒の新たな居場所と学習の場として、**来年度のVLPの導入を検討する**。複層的な取組をさらに充実させることで、子供と保護者が悩みや不安を相談できる環境を一層整えていきたいと考えております。不登校に悩む子供と、その家族を取り残さない、孤立・孤独にさせない、そういった支援を行っていきます。

ふるさと納税制度の導入について

富山の

Q ふるさと納税制度は税額控除の額が大きく、納税者にとってはメリットの大きい制度ですが、千代田区を含む特別区の多額の財源が地方に流出してしまっています。それに対応して、制度を導入する特別区も増加しており、千代田区でも対応を検討する必要があるのではないのでしょうか。若手の職員から新たな視点のフレッシュなアイデアを、ベテラン職員からは経験に基づくアイデアを募集するなどの形で、千代田区の魅力を最大限に活かしたお返しを検討しては。

(第四回定例会代表質問)

区の

A 特別区長会は本年7月、制度の廃止を含めた抜本的な見直しを国に要望しています。現実的な対応の必要性も認められます、本区においても**制度活用に向けた調査・検討を進めます**。

りんごの棚設置・図書館アップデートについて

富山の

Q ディスグレイシア等、特別な配慮を必要とする子どもを対象とした布の絵本や点字図書、拡大図書、音声図書などアクセシブルな本のコーナーであるりんごの棚を、区内図書館に設置しませんか。ここに子供の本ばかりでなく、大人向けに子供をサポートするための資料やサービスの情報を置き、まだまだ少ない子供の障害についての情報収集、交換の場という機能も加えませんか？

(第四回定例会代表質問)

区の

A 今まで図書館を利用したくても利用が難しかった方々へのアプローチのためにも、区立図書館の限られたスペースの中で、「**りんごの棚**」のようなブースを設けます。また、その周知方法などについて検討してまいります。

区内官民連携DXについて

富山の

Q 千代田区は都内でも珍しく、区民に加えて、大企業、中小企業、そして大学などの多様な主体が活発に活動しています。DXやスマート化について区からの一方的な情報発信だけではなく、区が抱えている課題や地域が主体となり産官学連携で解決し、区民の生活の質の向上に寄与するといった仕組みづくりが千代田区では可能です。区と民間、そして地域住民が力を合わせて千代田区のさらなる魅力づくりに取り組んでみては？

区の

A 今後は、区民、企業、大学など様々な地域主体と連携して、行政のスマート化にとどまらず、いわば地域のスマート化を進める、**千代田区スマート化推進プロジェクトに取り組みます**。区民、企業、大学などの多様な地域主体から、日常生活の気づきやアイデア等を提案いただき施策化する**デジタル活用提案制度を実施します**。

(第三回定例会一般質問&第四回定例会代表質問)

区政記念日表彰式について

富山の

Q 3月15日の区制記念日の区の公式行事として、区政に功勞のあった方々を表彰し、感謝をお伝えすることができる大変重要な表彰式となっています。以前から記念品についてさまざまな指摘されていましたが、区民から要望の多かった江戸切子グラスの復活はできませんか。

(予算決算特別委員会)

区の

A 検討を重ねているところですが、特別功勞の表彰者の数程度であれば、**来年から納品可能**ではないかというようなお話も聞いています。区民の声を傾聴しながら対応していく。